

## 環境基準の達成状況

## 1. COD

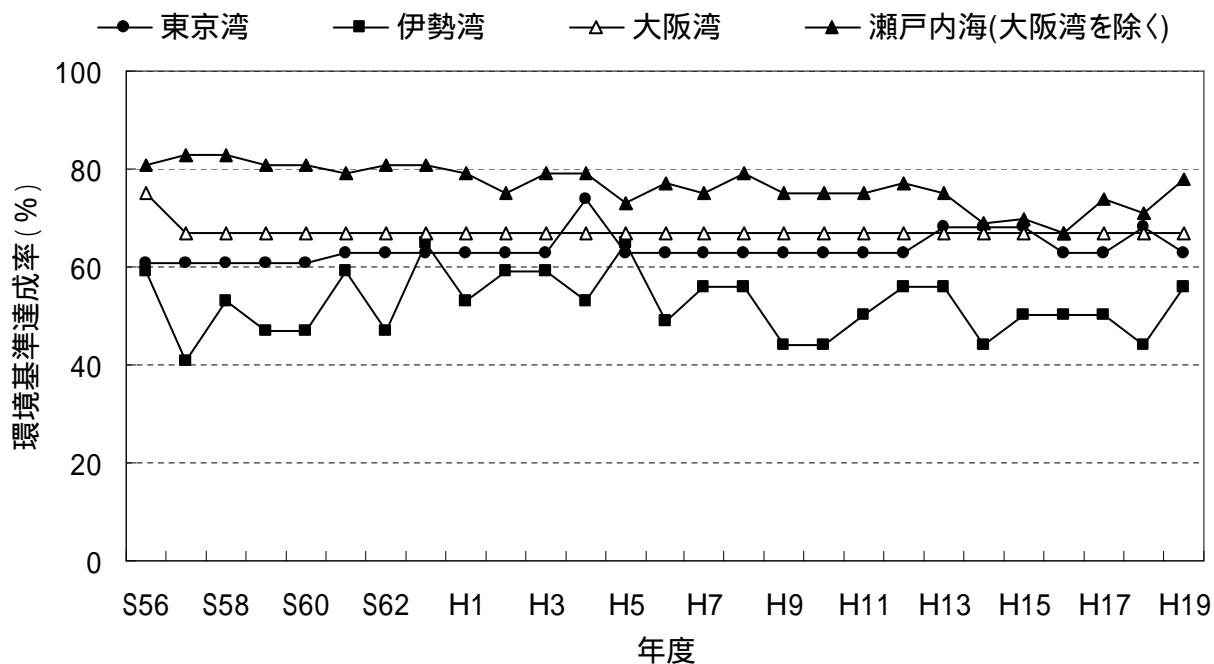
平成 19 年度の指定水域における COD の環境基準達成率は、東京湾では 63.2%、伊勢湾では 56.3%、大阪湾では 66.7%、瀬戸内海（大阪湾を除く）では 78.0%となっている。類型別に見ると、全ての指定水域において C 類型では 100%達成されているが、A 類型では 0%～45.1%と低くなっている。B 類型では瀬戸内海（大阪湾を除く）において 91.1%と高くなっているが、その他の指定水域では 37.5%～50.0%と低くなっている（表 7-1）。

いずれの指定水域についても、資料 6 に記したように COD 濃度が低下している水域もあるが、A 類型及び B 類型では COD 濃度の低下が環境基準の達成までには至っておらず、C 類型では昭和 57 年度から環境基準を 100%達成しているために COD 濃度の低下が達成率の向上に結びつかず、結果的に環境基準達成率の改善が見られていない（図 7-1）。

表 7-1 平成 19 年度類型別環境基準達成率(COD)

		A	B	C	合計
東京湾	指定水域数	2	8	9	19
	達成水域数	0	3	9	12
	達成率 (%)	0.0	37.5	100.0	63.2
伊勢湾	指定水域数	4	6	6	16
	達成水域数	0	3	6	9
	達成率 (%)	0.0	50.0	100.0	56.3
大阪湾	指定水域数	3	2	7	12
	達成水域数	0	1	7	8
	達成率 (%)	0.0	50.0	100.0	66.7
瀬戸内海(大阪湾を除く)	指定水域数	51	56	43	150
	達成水域数	23	51	43	117
	達成率 (%)	45.1	91.1	100.0	78.0
瀬戸内海全体	指定水域数	54	58	50	162
	達成水域数	23	52	50	125
	達成率 (%)	42.6	89.7	100.0	77.2

出典) 公共用水域水質測定結果 (環境省)



出典) 公共用水域水質測定結果 (環境省)

図 7-1 COD の環境基準達成率の推移

## 2. 窒素・りん

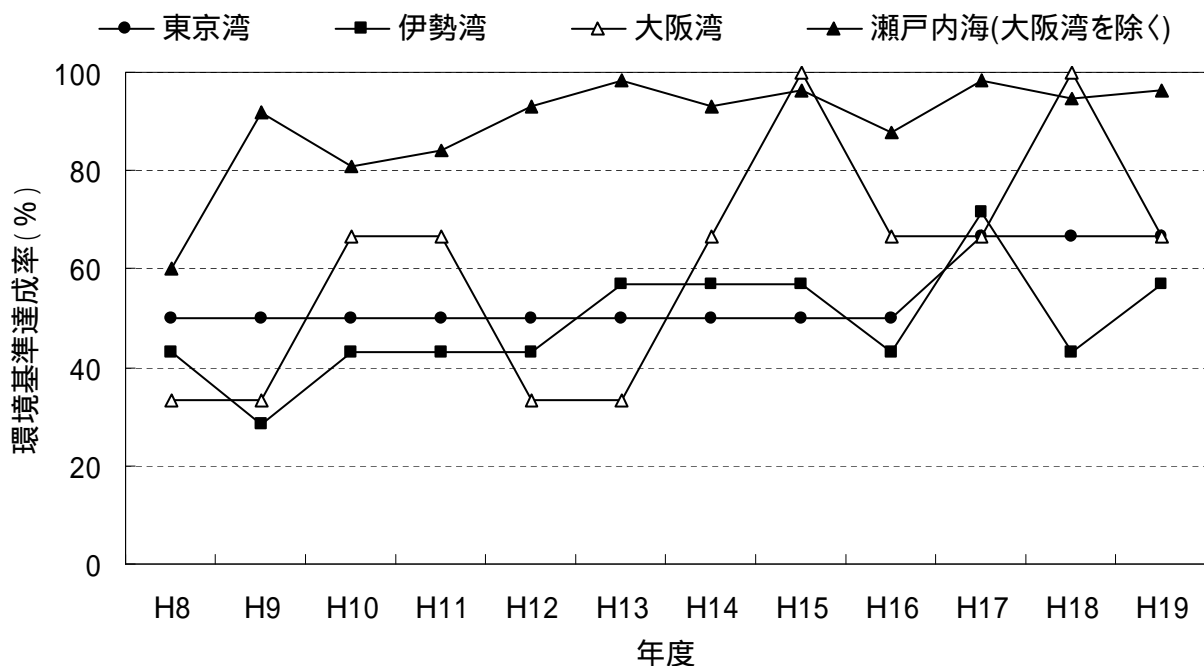
平成 19 年度の指定水域における窒素及びりんの環境基準達成率は、東京湾では 66.7%、伊勢湾では 57.1%、大阪湾では 66.7%、瀬戸内海(大阪湾を除く)では 96.5% となっている。類型別に見ると、類型では 100%達成されているが、類型では東京湾、伊勢湾及び大阪湾の全水域と瀬戸内海(大阪湾を除く)の 1 水域で、類型では東京湾及び伊勢湾の各 1 水域で、類型では瀬戸内海(大阪湾を除く)の 1 水域で達成されていない(表 7-2)。

平成 8 年度から平成 19 年度までの環境基準達成率の推移を見ると、東京湾では 50% から 66.7%まで、伊勢湾では 42.9%から 57.1%まで、大阪湾では 33.3%から 66.7%まで、瀬戸内海(大阪湾を除く)では 60%から 96.5%まで改善している(図 7-2)。

表 7-2 平成 19 年度類型別環境基準達成率 (T-N・T-P)

						合計
東京湾	指定水域数	0	1	1	4	6
	達成水域数	0	0	0	4	4
	達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	100.0	66.7
伊勢湾	指定水域数	0	2	2	3	7
	達成水域数	0	0	1	3	4
	達成率 (%)	0.0	0.0	50.0	100.0	57.1
大阪湾	指定水域数	0	1	1	1	3
	達成水域数	0	0	1	1	2
	達成率 (%)	0.0	0.0	100.0	100.0	66.7
瀬戸内海(大阪湾を除く)	指定水域数	1	42	12	2	57
	達成水域数	1	41	12	1	55
	達成率 (%)	100.0	97.6	100.0	50.0	96.5
瀬戸内海全体	指定水域数	1	43	13	3	60
	達成水域数	1	41	13	2	57
	達成率 (%)	100.0	95.3	100.0	66.7	95.0

出典) 公共用水域水質測定結果 (環境省)



出典) 公共用水域水質測定結果 (環境省)

図 7-2 窒素及びりん的环境基準達成率の推移